



美しい 県土づくりNEWS

2023年

6月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第226号
令和5年6月30日発行
編集 県土整備企画室

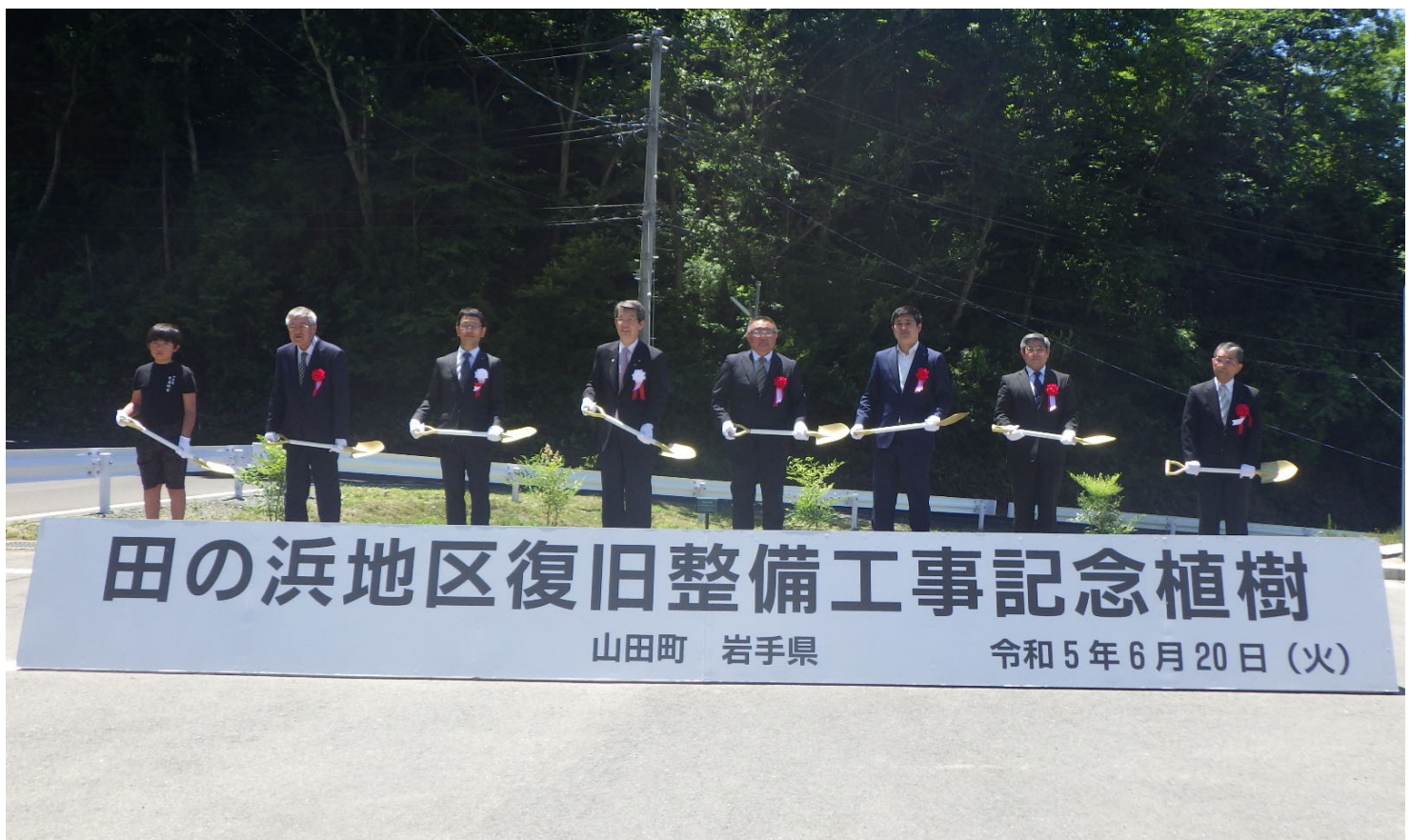
目次

- 2 田の浜地区復旧整備工事完成式を開催！
～令和元年台風第19号災害からの復旧～
- 4 御所湖広域公園が開園40周年を迎えました！！
- 6 災害復旧実務研修を開催しました！！
- 8 令和5年度「優秀建設施工者岩手県知事表彰式」
を開催しました！
- 9 令和6年度政府予算及び東日本大震災津波等からの復興と
地方創生・人口減少対策の推進に当たっての提言・要望を
実施
- 10 令和5年度「手づくり郷土賞」の募集について

三陸復興

田の浜地区復旧整備工事完成式を開催！

～令和元年台風第19号災害からの復旧～



6月20日（火）に岩手県と山田町の共催による「復旧整備工事完成式」
で実施した記念植樹の状況

田の浜地区復旧整備工事完成式を

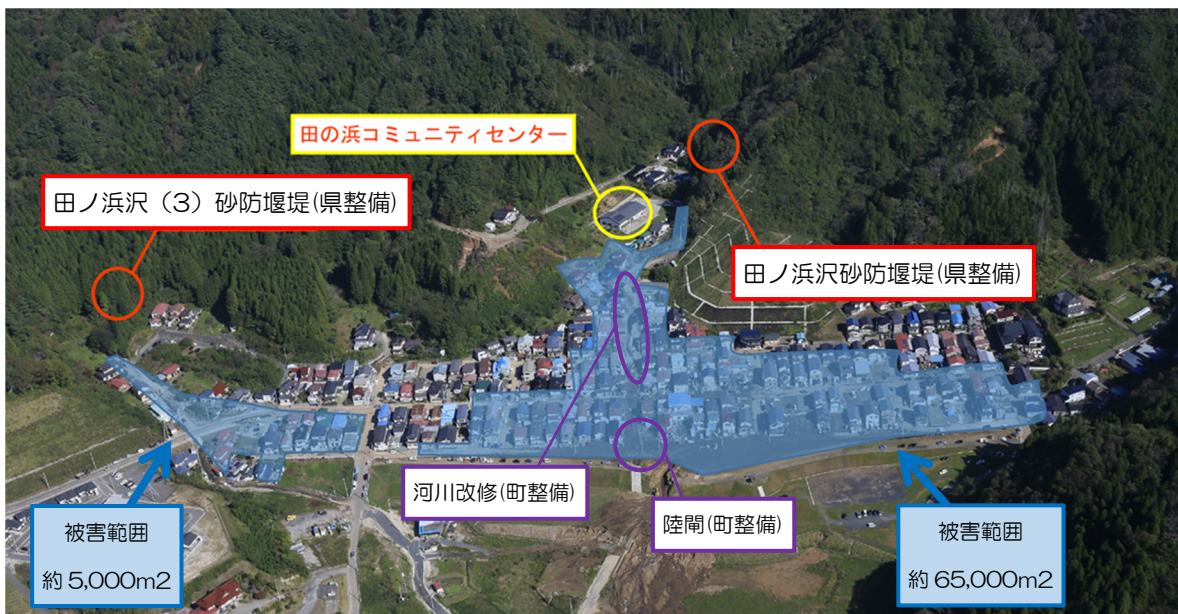
開催しました！！

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

令和元年台風第19号により被害を受けた山田町田の浜地区について、岩手県及び山田町による全ての復旧整備工事が完成したことから、令和5年6月20日（火）に県と町の共催による復旧整備工事完成式を執り行いました。

県及び町による工事概要について

山田町田の浜地区は、令和元年台風第19号の際、土石流危険渓流に指定されていた田ノ浜沢及び田ノ浜沢（3）から土石流が発生し、排水施設の閉塞等の影響も受け、118棟におよぶ住家等で浸水被害が発生しました。



このことから、**県では、土砂災害による被害の発生を防ぐことを目的に、砂防堰堤2基の整備を進めてきました。**

工事は令和2年10月に着手し、令和4年11月には田ノ浜沢（3）砂防堰堤（L=119.0m、H=11.0m）が、令和5年5月には田ノ浜沢砂防堰堤（L=67.0m、H=10.5m）が、それぞれ完成しました。



また、**町では、排水機能を確保**するため、砂防堰堤の下流側に位置する**河川の改修**や**陸閘整備**等を実施しました。



復旧整備工事完成式の様子について

今回の完成式は、田の浜地区に係る全ての復旧整備工事が完成したことから、県と町の共催により開催したものです。

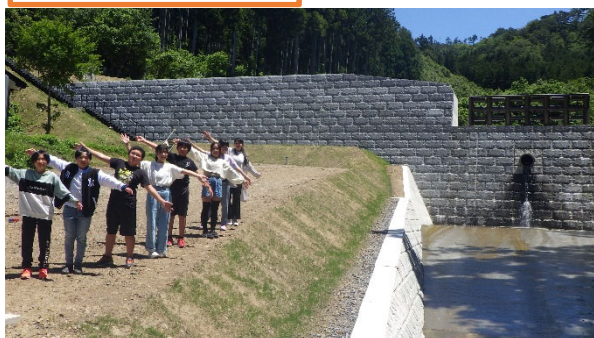
当日は心地よい晴天のなか、県と町の関係者のほか、田の浜自治会長や令和4年度出前講座に参加した船越小学校6年生など約40名が参加しました。事業報告のほか、船越小学校6年生から、出前講座で学んだ「土石流のパワーの大きさや堰堤の役割を知ることができた。学んだことを忘れず自然とともに生活していきたい。」等の発表をいただきました。

また、式典の最後には、縁起が良いとされるナンテン（「難」を「転」じる）を植樹し、地域の安全を祈念しました。

同地区における**砂防堰堤などのハード整備は全て完成**しましたが、県では、引き続き、防災学習などの**地域の防災力向上につながる取組を進めていきます**。



完成式終了後の様子
(船越小学校6年生)



御所湖広域公園が開園 40 周年を迎えました!!

都市計画課

盛岡広域振興局土木部

御所湖広域公園は、盛岡-大宮間新幹線開通記念事業として企画され、昭和 55 年度に事業着手しました。

昭和 56 年に完成した御所ダムによって出現した湖畔の自然環境保全や景観保全を目的に、盛岡市・雫石町にまたがる環境保全型レクリエーション地域である広域公園として整備したものです。

昭和 58 年 6 月 25 日に「乗り物広場」で開園式が行われ、平成 27 年度に最後の「矢櫃地区水辺園地」の完成をもって 17 地区 約 96ha が供用されています。



【開園当時の様子（乗り物広場）】

令和 5 年 6 月 26 日（月）、40 年前に開園式を実施した乗り物広場にて、雫石町立御所小学校の 6 年生 16 名によるアジサイ記念植樹が行われました。

40 周年を記念し、40 本を植樹し、児童からは『大きくなるのが楽しみ、育った後もみてみたい』とのコメントをいただきました。

公園近くの小学校でもあり、小さい頃から慣れ親しんでいるとのことで、良い思い出となったようです。



御所湖広域公園内では、遊具遊び、レクリエーション、バーベキューのほか、夏シーズンを前に花や昆虫など様々な景観や体験が楽しめます。是非、ご来園ください。



※現在、乗り物広場のローラー滑り台は休止中です

令和5年6月現在



I 尾入野湿生植物園（駐車場有、入場無料）

7月にはホタルが見られます。夜8時頃が飛翔のピークです。7月下旬にはスイレンが咲きます。



B ファミリーランド（駐車場有、入場無料）

ヒマワリは8月中旬頃の開花予定です。

木で船を作って遊ぼう！

開催日：令和5年8月19日(土)

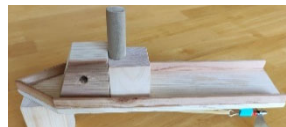
時間：10時～12時

場所：ファミリーランド内

管理棟

参加費：無料

先着
20名



施設利用の詳細や体験等の申込は、以下HPをご確認ください。

https://www.koiwai.co.jp/shiteikanri/gosyo_park/index.html

災害復旧実務研修を開催しました！！

砂 防 災 課

近年、自然災害が激甚化・頻発化している状況を踏まえ、災害復旧事業に携わる市町村職員の技術力向上を図るため、県と公益財団法人岩手県土木技術振興協会の共催による「災害復旧実務研修」を開催しました。

講義等の座学に加え「実際の被災現場を使った模擬査定演習」を実施することで、災害査定具体的な流れや災害復旧事業の留意点等の理解向上を図ることができました。

なお、本研修の開催に当たっては、災害復旧技術専門家派遣制度を活用し、公益社団法人全国防災協会から災害復旧技術専門家を派遣していただきました。

■ 研修概要

日時	場所	参加者
令和5年6月5日（月） 10：45～16：15	二戸地区合同庁舎大会議室（1階） 模擬査定現場：九戸村山根字第4地割地内	盛岡市ほか4市の職員

○災害復旧実務研修の主な内容

- ・ 講義：「災害復旧事業の基礎知識」「災害査定時の留意点」をスライドで習得。
- ・ **模擬査定**：実際に災害査定で使用した設計書等を用いて、より本番に近い環境で「災害申請」から「朱入れ」まで実施。
 - ① 査定官・立会官役：災害復旧技術専門家2名
 - ② 模擬査定箇所：令和4年災第34号 二級河川瀬月内川 九戸村字山根地内

■ 災害復旧技術専門家派遣制度

1 災害復旧技術専門家とは

国や都道府県の災害復旧業務に長年携わり、制度を熟知し、災害復旧事業に関する高度な技術的知見を有する経験豊富な技術者

2 災害復旧技術専門家が行う、主な支援・助言

- ① 災害調査に関する支援
- ② 復旧工法に関する技術的支援
- ③ その他、地方公共団体等の災害復旧に関する支援・助言 ← **今回活用**

■ 当日の様子



講義状況



模擬査定申請（設計書読み上げ）



起終点の確認等



災害復旧技術専門家における技術的な助言



査定設計書の修正

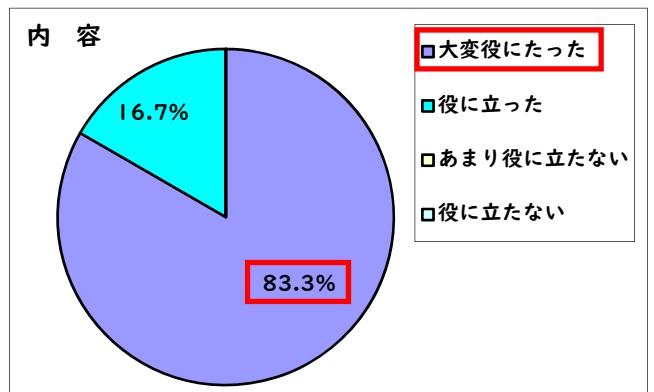
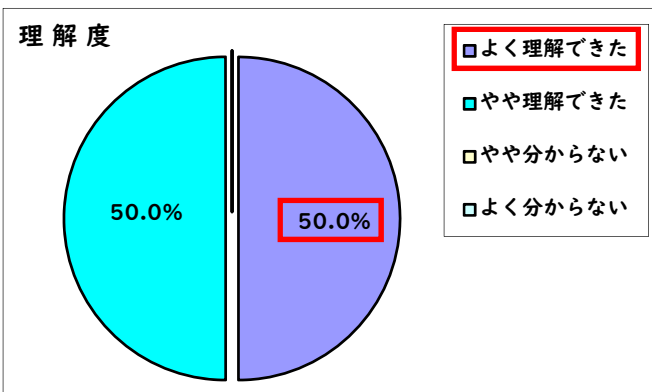


朱入れ

■ 参加者からの感想

参加者から次のような感想があり、ご好評をいただきました。
机上ではなく、実際の現場を見ながら一連の流れを体験でき大変勉強になりました。

■ アンケート結果



今回の研修開催を活かし、災害復旧に携わる市町村職員の技術力の向上が図られるよう、引き続き、市町村支援に取り組んでいきます。

令和5年度「優秀建設施工者岩手県知事表彰式」 を開催しました！

建設技術振興課

令和5年6月15日（木）、「第31回優秀建設施工者岩手県知事表彰式」を盛岡市のプラザおでってで開催しました。

この表彰式は、優れた建設現場従事者を広く表彰することにより、「ものづくり」に携わっている者の誇りと意欲を増進させ、これらの方々の能力・資質の向上を図るとともに、その社会的評価・地位の向上を図り、**建設業の健全な発展に資することを目的として平成5年度から開催しているものであり、今年度で31回目となります。**

今年度の受賞者は8名で、表彰式では知事から表彰状と徽章が授与されました。

【受賞者一覧】

受賞者名	所属会社	所在地
伊藤 憲雄	(株)小松組	大船渡市
及川 茂	及常建設(株)	奥州市
郡山 修一	板谷建設(株)	奥州市
佐々木 真哉	(株)たかしん興業	花巻市
嶋田 忠良	(株)山田電設	盛岡市
千葉 正樹	千田工業(株)	北上市
間明 昭仁	熊谷建設(株)	田野畑村
山口 久男	三和設備工業(株)	花巻市



表彰状授与



表彰式 記念写真

令和6年度政府予算及び東日本大震災津波等からの復興と地方創生・人口減少対策の推進に当たっての提言・要望を実施

県土整備企画室

6月14日(水)、国の府省庁に対し、「令和6年度政府予算及び東日本大震災津波等からの復興と地方創生・人口減少対策の推進に当たっての提言・要望」を行いました。

県では、「いわて県民計画（2019～2028）」において、東日本大震災津波からの復興推進の柱として「安全の確保」、「暮らしの再建」、「なりわいの再生」、「未来のための伝承・発信」を掲げ、より良い復興、「ふるさと岩手・三陸の創造」に、全力で取り組むこととしています。

また、地方創生と人口減少対策は、復興と並ぶ本県の喫緊の課題であり、「第2期岩手県ふるさと振興総合戦略」において、「岩手で働く」「岩手で育てる」「岩手で暮らす」「岩手とつながる」の4つを柱に据え、岩手への新しい人の流れを生み出すための取組を進めているところです。



▲ 古川 国土交通大臣政務官(左)へ要望書を手交する達増知事

こうした本県における復興と地方創生・人口減少対策の推進にあたり、必要な予算の確保のため、国土交通省をはじめとする府省庁等への要望を行ったものです。

【県土整備部関連の主な要望項目】

- ・ 復興事業（ハード事業）完了までの支援の継続
- ・ 津波対策施設に係る維持管理費等に対する財政措置
- ・ 公共事業予算の安定的・持続的な確保
- ・ 宮古盛岡横断道路の全線高規格化
- ・ 直轄事業の推進
- ・ 高規格道路の機能強化
- ・ 広域道路ネットワークの強化に向けた支援
- ・ 災害に強い県土づくりへ向けた防災・減災対策や老朽化対策への支援 等

※ 要望書の内容は、県ホームページで公開しています。
「岩手県 令和6年度政府予算等に係る提言・要望」で検索

(国土交通省)

令和5年度「手づくり郷土賞」の募集について

国土交通省では、8月18日(金)まで、令和5年度「手づくり郷土(ふるさと)賞」を募集しています。

「手づくり郷土賞」は、昭和61年度に創設され、今年度で38回目の開催となる国土交通大臣表彰です。地域づくり活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体を表彰し、これらの好事例を広く紹介することで、各地で个性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

募集対象は、地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりのある優れた地域活動を一体的に表彰する「一般部門」と、これまでに受賞したもののうち一層の発展のあったものを表彰する「大賞部門」の2部門です。

受賞団体には、認定証が授与されるほか、選定された成果は好事例として、ホームページなどを通じて広く全国に紹介される予定です。

1 応募団体の資格

地域の社会資本を有効活用し、地域づくり等に取り組む活動団体が単体または共同で応募可能。

また、社会資本を管理する団体(都道府県、市町村等)と共同で応募することも可能。

2 募集期間

令和5年8月18日(金)まで

3 応募方法

応募資料(応募用紙及び参考資料)を、募集期間内に「5 問い合わせ先」に提出。

※原則として電子データで提出

【応募要領及び応募用紙】

(<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/te dukuri/entry/index.html>)

4 今後のスケジュール(予定)

募集締め切り : 令和5年8月18日

選定結果の公表 : 令和5年11月~12月

発表会(交流会) : 令和5年12月

認定証授与式 : 令和6年1月~3月

5 問い合わせ先

東北地方整備局企画部企画課地方計画係

TEL : 022-225-2171

E-mail : thr-chiiki@ki.mlit.go.jp

[国土交通省の手づくり郷土賞ホームページ](#)

(応募要領の詳細及び過去の受賞事例等をご覧ください)



6 参考(本県の受賞事例)

昭和61年の表彰制度創設以降、岩手県では38の取組事例(15市町)が一般部門を受賞しています。

一般	大賞	市町村名	取組事例	一般	大賞	市町村名	取組事例
S61		盛岡市	御蔵橋	H7		洋野町	種市駅前広場
S61		一関市	磐井川	H8		盛岡市	盛岡市新庄浄水場「水と社の広場」
S62	H18	盛岡市	所湖広域公園	H8		北上市	詩歌の森公園
S62		北上市	展勝地公園	H8		一関市	町営住宅大明神団地
S63		盛岡市	山岸せせらぎ水路	H8		滝沢市	滝沢総合公園ロックガーデン
S63		宮古市	津軽石川堤防	H8		住田町	葉山めがね橋水園
S63		花巻市	田瀬湖ふるさと湖畔	H9		宮古市	リバーパークにいさと
S63		奥州市	蔵のあるポケットパーク	H9		遠野市	遠野浄化センター
H元		盛岡市	北山寺院群地区	H9	H19	洋野町	大野村産業デザインセンター
H2		盛岡市	赤レンガ建物のライトアップとガス灯	H10		花巻市	南部杜氏の里
H2		盛岡市	木伏緑地と新築地花壇	H11		雫石町	雫石銀河ステーション・ボランの広場
H2		花巻市	早坂	H12		盛岡市	仙北西地区自転車歩行者道ネットワークみちくさ通り外5路線
H3		遠野市	大工町通り	H13		一関市	吸川・自然豊かなせせらぎを再び
H4		久慈市	山根六郷「桂の広場」	H16		奥州市	「蔵のある街づくり」中町地区
H5		北上市	水と緑の和賀川ふれあい広場	H28		陸前高田市	桜ライン311 ー未来へのまちづくりー
H5		釜石市	青葉通り緑地	H29		一関市	「骨寺村荘園遺跡」等の保全と地域の活性化を目指す活動
H6		花巻市	吹張町ポケットパーク	H30		一関市	水害常襲地からの脱却! 川との戦いから川とのふれあいへ
H6		紫波町	日詰ふれあい広場	H30		陸前高田市	名勝・高田松原の再生をめざして
H6	H19	盛岡市	材木町コミュニティ道路	R2		盛岡市	盛岡市鉦屋町界隈 ～盛岡町家と暮らしと文化がいきづく街並みの保存活用～

特に、以下の3事例については、地域活動の一層の発展が認められ、大賞部門を受賞しています。

- 盛岡市 御所湖広域公園(一般部門:昭和62年、大賞:平成19年)
- 盛岡市 材木町コミュニティ道路(一般部門:平成6年、大賞:平成19年)
- 洋野町 大野村デザインセンター(一般部門:平成9年、大賞:平成19年)

なお、近年では、「盛岡市鉦屋町界隈～盛岡町家と暮らしがいきづく街並みの保存活用～」が令和2年度に一般部門を受賞しました。

2 盛岡市 鉦屋町界隈
～盛岡町家と暮らしと文化がいきづく街並みの保存活用～

特定非営利活動法人 盛岡まち並み塾

1 社会資本の概要
盛岡市は岩手県中部に位置し、東北最大の北上川が南北に流れる自然豊かな地域で、平安時代に征夷大将軍坂上田村麻呂が北上川西岸に紫波城を築き、朝廷の東北経営の拠点となりました。明治以後は岩手県の県庁所在地となり、商業の政治、経済、交通の中心都市となっています。盛岡市の代表的な歴史的街並みは、近代化遺産といわれる明治・大正期に建てられた建群を中心とした中の通りから鉦屋町界隈の街並みと、盛岡町家と云われる商家・民家と土蔵、寺院群が集まる大慈寺町・鉦屋町(なつやちょう)界隈の街並みに大別されます。鉦屋町界隈は江戸から明治期に、北上川舟運の起点・街道の城下玄関口として栄え、日商家の町家、舟運時代の土蔵、寺院、自然風土が育む緑と清水等、城下町の風情と暮らしが息づいています。

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫
平成15年開催の地元住民と建築家等専門家の勉強会で、街並み及び町家の価値を認識し、暮らしの文化や歴史記との繋がりを再認識し、盛岡の歴史文化遺産として次世代に繋ぐ活動が提案された事を契機に、盛岡まち並み塾が発足し活動が始められました。家族間の生活意識の違いやまちづくりへの意識差、近隣の利害関係等がある中、中立の立場でまちづくりの相談窓口として地域に入る必要性があると考え、盛岡まち並み塾が活動する事務局拠点機能な盛岡町家を改修した「大慈寺水(だいじみず)御休み処」に設置し、情報発信拠点としました。また、暮らし、伝統文化とともに街並みを次世代へ受継ぐ取組として、盛岡の日家で管轄の月に日産で行っていた賑わい祭りに活用して、「盛岡町家日産の賑わい祭」を開催しています。

3 活動の成果や波及効果等
町家の改修推進のため、「街並み修繕フォーラム・見学会」の開催、季節のイベントを住民と協働で実施しています。町家改修等街並み整備の成果としては、建物修繕費が10年間で728軒(うち新規修繕や開業が21軒)と、驚くべき割合で増えています。平成22年から観光案内や情報発信・街並み保存相談窓口の拠点設置(年16,000名利用)、「もりおかワカもろプロジェクト/盛岡町家de手づくり市」(未就学15,000名)の定期開催など、若者活動と賑わいが定着しています。

喜ぶの声
受賞者: 特定非営利活動法人 盛岡まち並み塾 理事長 海野 伸

コメント
任意団体からスタートした地域と行政の連携との取組を評価していただき、大変嬉しく、今後の活動の励みになります。盛岡町家と歴史的街並み空間が生み出す、暮らしと文化、人々の暮らしに繋がる関係性など、この時代にも適した普遍的な財産として、未来に繋げる取組を今後も続けてまいります。ぜひお手に触れる際は、盛岡市鉦屋町界隈に足をお運びください。

活動の内容
●界隈マップや町家紹介パンフレット等の作成配布
●住民との協働による企画の実施
●観光案内、喫茶、スペース貸し等の町家活用
●改修相談窓口の設置、改修補助金資料の配布
●暮らしの歴史記のイベントによる伝統文化の発信への継承
●街並み町家を活用した定期的なイベントの開催
●地域資源を活用したイベント開催

活動の経緯
平成15年 盛岡まち並み塾発足
平成16年 「盛岡町家日産の賑わい祭」の開催開始
平成19年 第一号の町家暮らし修繕事業で「大慈寺水御休み処」開設
平成24年 「もりおかプロジェクト」開始
平成29年 商業復活を目指す「北上」に舟っこを運航する盛岡の会」に参画

所在地
岩手県盛岡市鉦屋町、大慈寺町、南大通二丁目、南大通三丁目内

活動主体及び連絡先
特定非営利活動法人 盛岡まち並み塾 (019-656-1603)

対象となる社会資本
鉦屋町界隈の歴史的街並み
盛岡まち並み塾
岩手県盛岡市鉦屋町、大慈寺町、南大通二丁目、南大通三丁目内
特定非営利活動法人 盛岡まち並み塾 (019-656-1603)
鉦屋町界隈の歴史的街並み
盛岡まち並み塾
岩手県盛岡市鉦屋町、大慈寺町、南大通二丁目、南大通三丁目内

出典: 手づくり郷土賞ホームページ(国土交通省)